

GREEN×EXPO 2027および上瀬谷の将来の まちづくりに向けた工事について



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

令和7年11月

本日ご説明する内容

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた工事
- 2 上瀬谷の将来のまちづくりに向けた工事
- 3 工事中の安全対策など



GREEN × EXPO 2027

GREEN
×
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

環境と共生し、市民の皆様と共につくる、「環共」をテーマとする
日本で初めての国際博覧会

開催概要



名称

「GREEN×EXPO 2027」
(2027年国際園芸博覧会)

開催地

瀬谷区・旭区(旧上瀬谷通信施設)

開催期間

2027年3月19日から9月26日まで

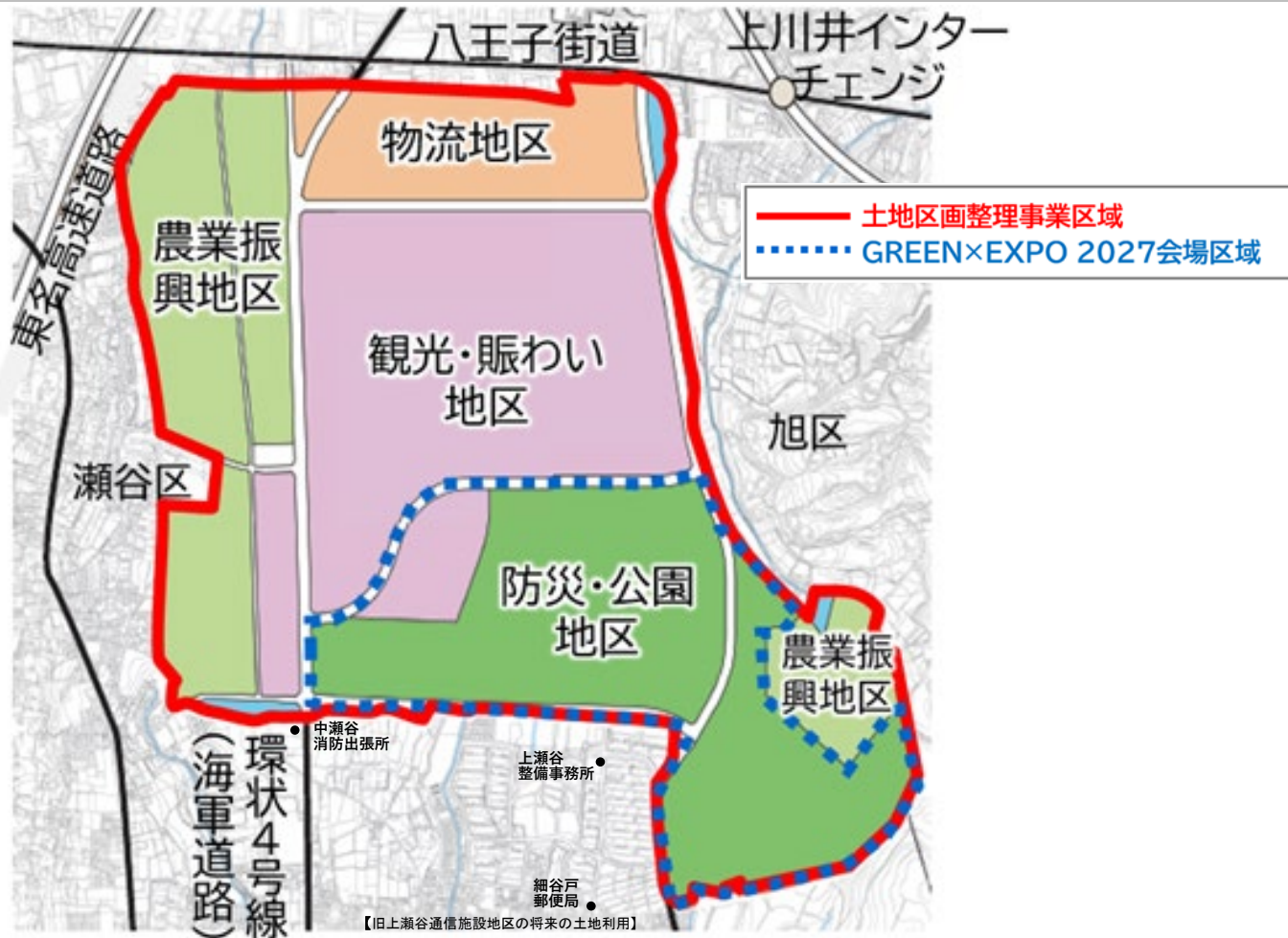
参加者数

有料来場者数:1,000万人以上

テーマ

幸せを創る明日の風景









Village出展

- A. 東急グループ
- B. 株式会社 KTグループ
- C. NTT東日本 株式会社
- D. 株式会社 大林組
- E. 三菱国際園芸博覧会総合委員会
- F. 鹿島建設 株式会社

- G. 大和ハウスグループ
- H. 東邦レオ 株式会社
- I. 竹中グループ
- J. 住友林業 株式会社
- K. 相鉄ホールディングス 株式会社
- L. 清水建設 株式会社



テーマ営業出店

- M. JAグループ
- N. 株式会社 丸兆
- O. 明治グループ
- P. 山崎製パン 株式会社



●株式会社 KT グループ



必要な時に必要な場所へ「くるまたち」が
「エネルギー」を運び、皆さまを笑顔にします。



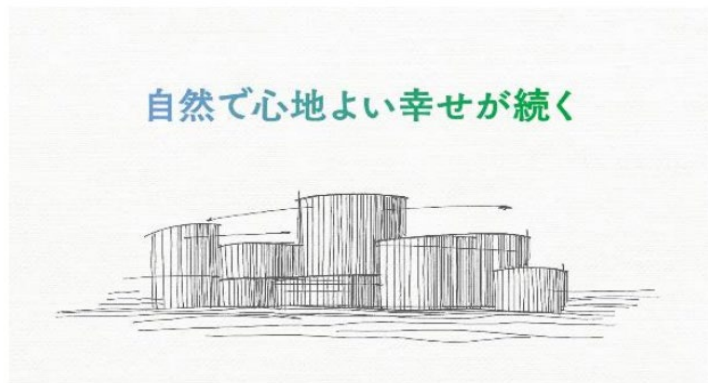
●NTT 東日本株式会社



NTT 東日本は「産業・自然・文化」が調和し、
幸せがめぐる“Well-being な社会”を体験型で表
現いたします。



●株式会社大林組



大林グループが目指す「地球・社会・人」の調和した世界観を、是非体感しに来てください。



●三菱グループ(三菱国際園芸博覧会総合委員会)



幸せな明日に向けて、「自然と人、社会との共生」の重要性を楽しみながら再確認して、みんなで取り組むきっかけに繋がるような展示を目指します！

●鹿島建設株式会社



「(仮称) KAJIMA TREE」。それは自然と人の明日の物語。大阪・関西万博の大屋根リングの木材※が、先端技術により新たな命を吹き込まれ、GREEN×EXPO のシンボルとして生まれ変わります。※鹿島は大阪・関西万博の大屋根リングの木材の契約候補者です。

●東邦レオ株式会社



ノモの国を「STUDIO」として再生します。循環から生まれる新しい体験を感じてください。



●竹中グループ



リジェネラティブでウェルビーイングな未来へ

竹中グループ出展 イメージパース
詳細は後掲イメージであり、変更となる可能性があります

脱炭素、資源循環、自然共生を調和させ、地球の恵みを回復・再生し、創造性豊かに暮らす社会を目指します。



●住友林業 株式会社



1691年の創業以来、森や木、植物と歩んできた住友林業ならではの展示・体験を提供します。

●玉川大学・玉川学園



自然と学びが響きあう空間を
来場者と共に創り上げる“体験型展示”

●一般社団法人 日本造園建設業協会 東北総支部



2027年国際園芸博覧会 東北六県ガーデン
プロジェクト

東北奥路地 (TOHOKU OKUROJI) その一步が東
北への旅のはじまり

●株式会社 ハクサン



PW (PROVEN WINNERS®) の植物を活用し、日本の猛暑にも対応できる、ローメンテナンスで楽しめるサステナブルガーデンを提案します。

●一般社団法人 JFTD 花キューピット

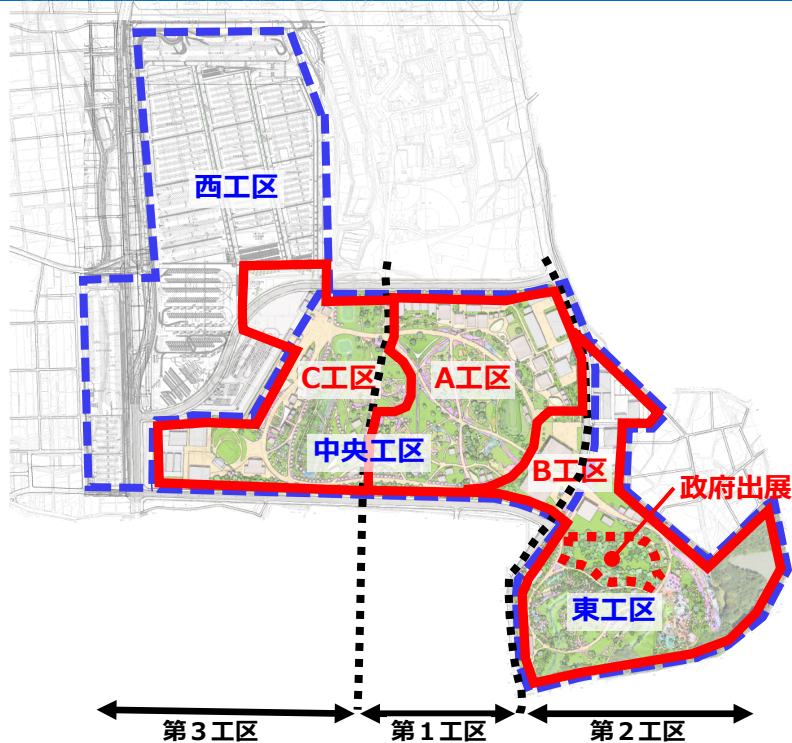


2027 JAPAN CUP 他

花の魅力を世界へ GREEN×EXPO 2027 (横浜) から 花の魅力を発信します!

1 GREEN×EXPO 2027に向けた工事の進捗

GREEN×EXPO協会による会場整備



- 【凡例】
- — : 会場整備工事
 - : 造園工事
 - : 政府出展屋外工事
 - : 仮設建築工事

①会場整備工事（東工区・中央工区）

- ・令和6年10月より、造成やインフラ工事等が完了した箇所から順次、博覧会会場の整地工事などを行っています。
- ・現在、博覧会会場整備に必要な仮設の電気・上下水道の管路敷設工事に着手しています。今後、電気設備や給水設備工事や舗装工事を行います。

②会場整備工事（西工区）

- ・今年度は、博覧会会場に隣接した交通ターミナル及び駐車場の整備に向けて、造成工事が完了した箇所から順次、排水工事等を着手しています。

③造園工事（A工区・B工区・C工区）

- ・今年度は、博覧会に必要な細园路の整備や植栽エリアの土壌改良等を実施します。
- ・来年度に会場を彩る修景植栽等を予定しています。

④仮設建築工事（第1工区・第2工区・第3工区ほか）

- ・11月より、屋内出展施設や物流・防災備蓄等倉庫の仮設建築工事に着手します。
- ・令和8年1月より、工区別に飲食・物販の建物、仮設トイレや案内所など、用途に応じた仮設建築物の設置工事に着手します（開幕までに約260棟の仮設建築物の設置を予定）。

⑤政府出展工事（屋外工事・建築工事）

- ・11月2日に政府出展起工式が行われ、日本庭園を整備する屋外工事や建築工事に本格的に着手します。

⑥出展者工事

- ・令和8年から着手します。

2 上瀬谷の将来のまちづくりに向けた工事の進捗 土地区画整理事業の土地利用計画等



農業振興地区

賑わい施設などと連携した農産物の収穫体験や、滞在しながら農の魅力を味わう農体験、ICTなどを活用した質の高い農産物の安定生産と直売所等による「収益性の高い農業」の展開、大学と連携した農業技術の研究など、他の地域へも波及する新たな都市農業モデルとなる拠点を形成します。

観光・賑わい地区

テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点を形成します。

物流地区

東名高速道路や保土ヶ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新技術を活用した効率的な国内物流を展開する新たな拠点を形成します。

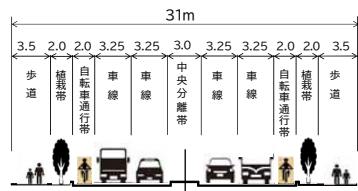
防災・公園地区

国際園芸博覧会のレガシーを継承する公園や災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）などを形成します。

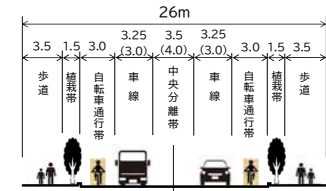
事業スケジュール

H27年	全域返還 (6月)
R 4 年	都市計画決定(4月) 事業計画決定(10月)
R 5 年	仮換地指定(11月)
R 6 年	道路・調整池・宅地造成等整備
R 8 年	
R 9 年	GREEN×EXPO2027 (3月～9月)
R10年	道路・調整池・宅地造成等整備
R 15 年	
	換地処分

環状4号線



上川井瀬谷1号線、(2号線)



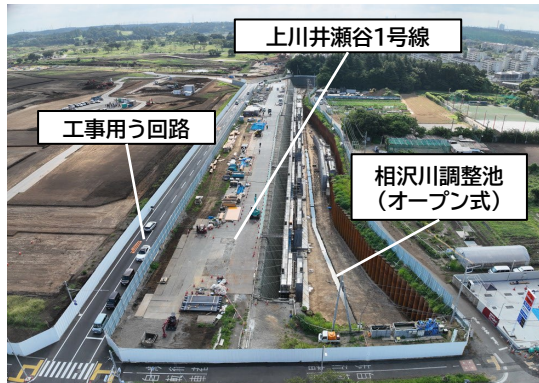
2 上瀬谷の将来のまちづくりに向けた工事の進捗 (1) 土地区画整理事業の整備 (1層目)

土地区画整理事業のインフラ整備

- 会場へのアクセス路となる上川井瀬谷1号線では、工事用う回路を整備しながら、安全かつ効率的に工事を進めています。
- 環状4号線の中瀬谷消防出張所から北側約300mの区間では、道路を拡幅する工事に令和7年12月頃から着手する予定です。
- 県営細谷戸ハイツ東側の区画内道路3号では、道路及び下水道工事に令和8年1月頃から着手する予定です。

※ 現道交通を規制する際には、事前に現地案内看板等で周知を行います。

【写真①：工事用う回路と相沢川調整池】



【写真②：環状4号線の拡幅整備予定箇所】



2 上瀬谷の将来のまちづくりに向けた工事の進捗 (1) 土地区画整理事業の整備 (1層目)

土地区画整理事業のインフラ整備

- ・事業区域内に供給するために、ガス工事（夜間含）を、令和7年12月頃から着手する予定です。
- ・八王子街道を横断する上水道工事（夜間含）を、令和8年1月頃から着手する予定です。
- ・大門川調整池では壁面工事を進めており、地下式の相沢川調整池では、コンクリートブロック据え付けが年内に完了する予定です。

【写真①：大門川調整池の壁面工事】



【写真②：相沢川調整池（地下式）の
コンクリートブロック据え付け工事】



2 上瀬谷の将来のまちづくりに向けた工事の進捗 (1) 土地区画整理事業の整備 (1層目)

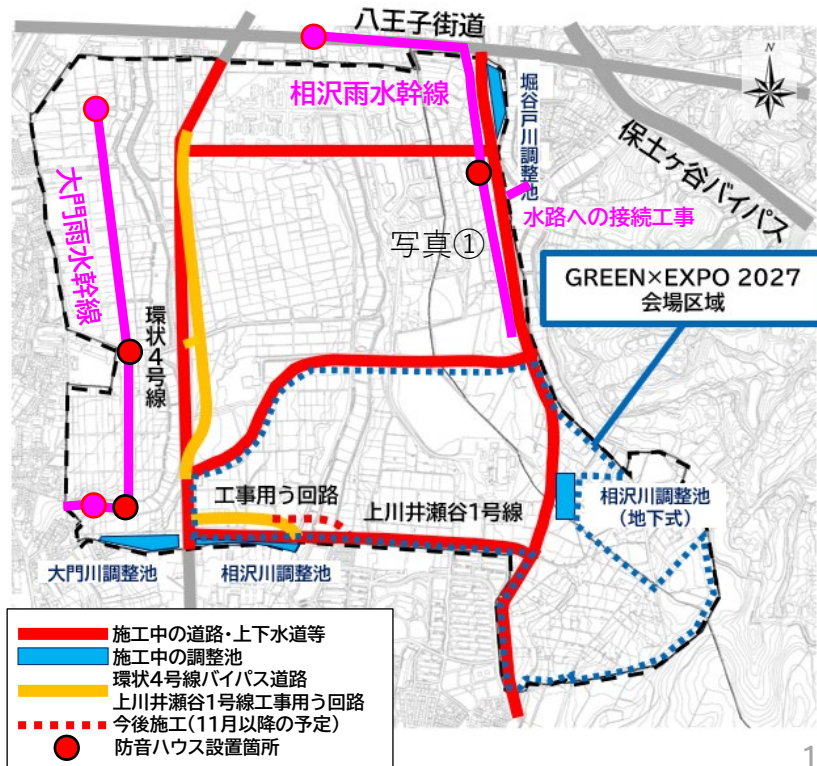
土地区画整理事業の治水対策

- ・大雨による災害に備え、浸水被害の軽減を図るため、相沢雨水幹線と大門雨水幹線の、下水道工事を進めています。
- ・八王子街道では、相沢雨水幹線の工事に、令和7年12月頃から着手する予定です。
- ・工事の実施にあたって、周辺環境への影響を抑えるため、騒音及び光漏れ対策の防音ハウス工事に、令和7年12月頃から着手する予定です。

【写真①：雨水幹線の整備状況】



【防音ハウスの事例（参考）】



2 上瀬谷の将来のまちづくりに向けた工事の進捗 (2) 公園の整備 (2層目)

公園予定地内の基盤整備工事(1)

- ・ GREEN×EXPO 2027会場区域内で、園路、上下水道、植栽等の基盤整備を行っています。
- ・ 造園工事等にも着手しており、「相沢川」周辺では、多様な生物の生息環境を保全し、里山景観の再生を進めています。



〈①相沢川周辺の工事状況〉

2 上瀬谷の将来のまちづくりに向けた工事の進捗 (2) 公園の整備 (2層目)

公園予定地内の基盤整備工事(2)

- ・「和泉川」でも相沢川と同様に、里山景観の再生を進めています。

〈将来の和泉川周辺イメージ〉



〈①和泉川周辺の工事状況〉

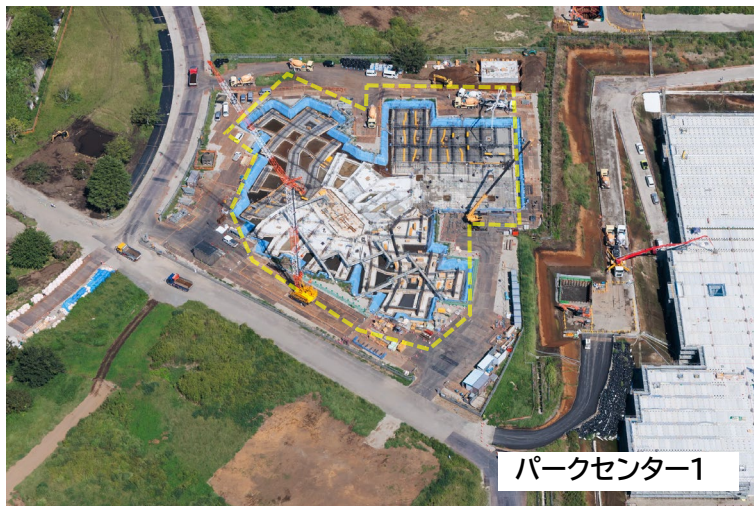
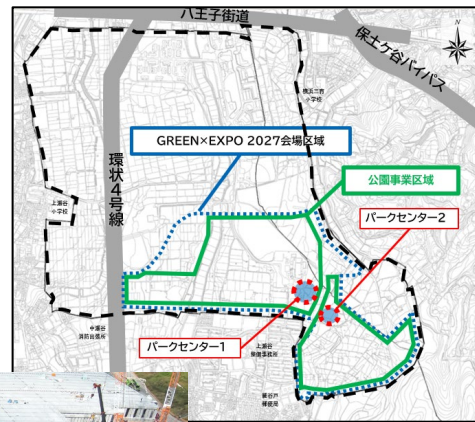


2 上瀬谷の将来のまちづくりに向けた工事の進捗 (2) 公園の整備 (2層目)

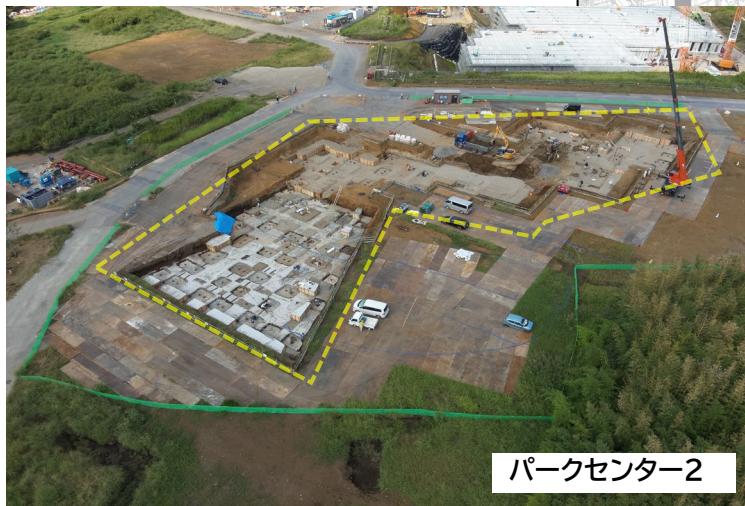
明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

公園予定地内建物の整備について

- ・環境体験学習や環境活動の拠点等に加え、公園の管理機能を備えた、パークセンター1及び2の整備を進めています。両施設とも今年度から工事に着手し、現在、基礎躯体工事を行っています。
- ・年内には地上部分の建築工事にも着手するなど、令和8年12月の完成を予定しています。



パークセンター1

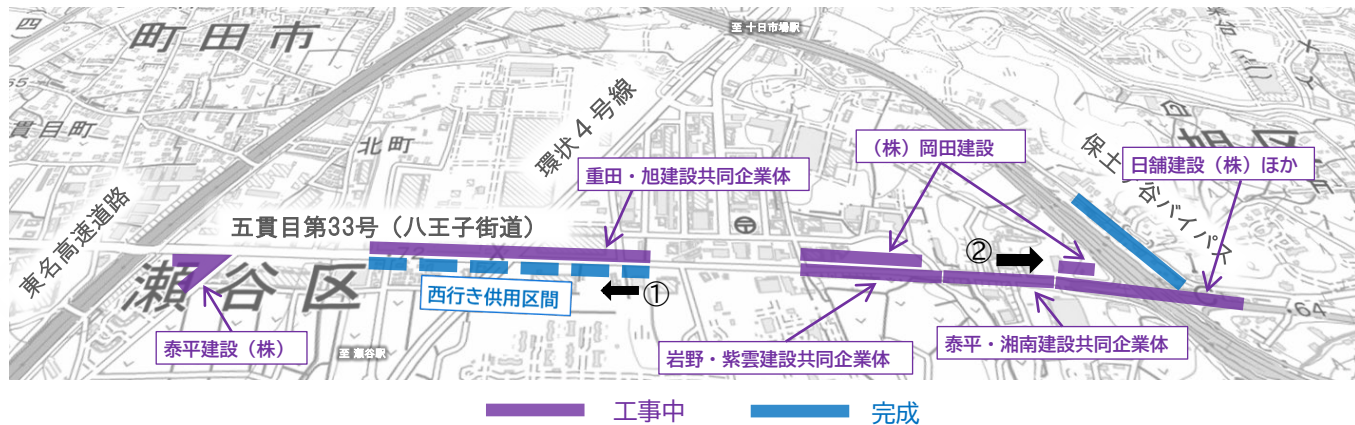


パークセンター2

2 上瀬谷の将来のまちづくりに向けた工事の進捗 (3) 周辺道路の整備

八王子街道 4車線化工事

- ・ 八王子街道では、4車線化に向けて道路拡幅工事を進めており、拡幅部の擁壁が一部完成するなど、全区間で順次施工を行っています。
- ・ また、西行き方面では、日常的に渋滞が発生していることから、目黒交番前交差点の前後区間の整備を優先的に進めてきました。この度、西行き車線の工事が完了したため、11月10日に供用を開始する予定です。



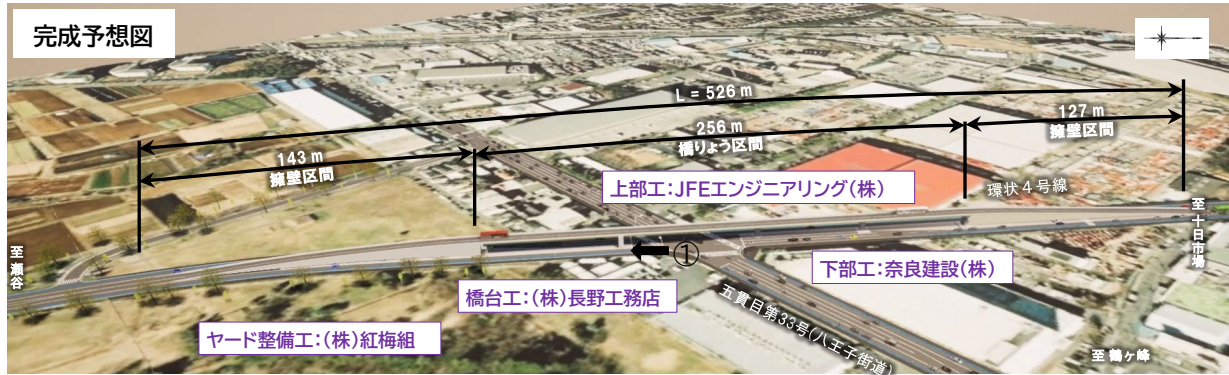
2 上瀬谷の将来のまちづくりに向けた工事の進捗

(3) 周辺道路の整備

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

目黒交番前交差点 立体化工事

- ・ 橋りょうの杭基礎工事が完了し、現在は、橋脚の設置工事に着手しています。あわせて、工場製作を進めていた約250mの橋桁が完成しており、令和8年1月から、現地の施工ヤードで橋桁の組立工事を開始する予定です。
- ・ また、橋りょうの前後区間においても、令和8年2月から、擁壁工事に着手するなど、令和8年末の完成に向け工事を進めます。



2 上瀬谷の将来のまちづくりに向けた工事の進捗

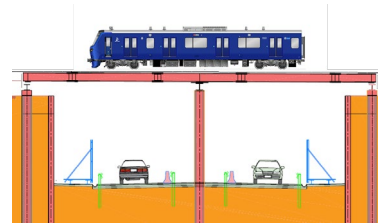
(3) 周辺道路の整備

瀬谷地内線 整備工事

- ・相鉄線トンネル部の掘削に向けて、線路の仮受け工事や前後区間の擁壁工事を行っています。また、県道瀬谷柏尾線との接続部における道路工事に着手するなど、今後、全区間で工事を進めます。
- ・さらに、令和9年3月に開催されるGREEN×EXP02027に向けて、会場周辺の交通環境の改善を図るため、相模鉄道トンネル部では、開催期間中に車両が一時的に通行できるよう工事を進めます。



完成予想図



【トンネル断面図（EXP0開催時）】

※一時的に車両が通行できるよう工事を進めます。

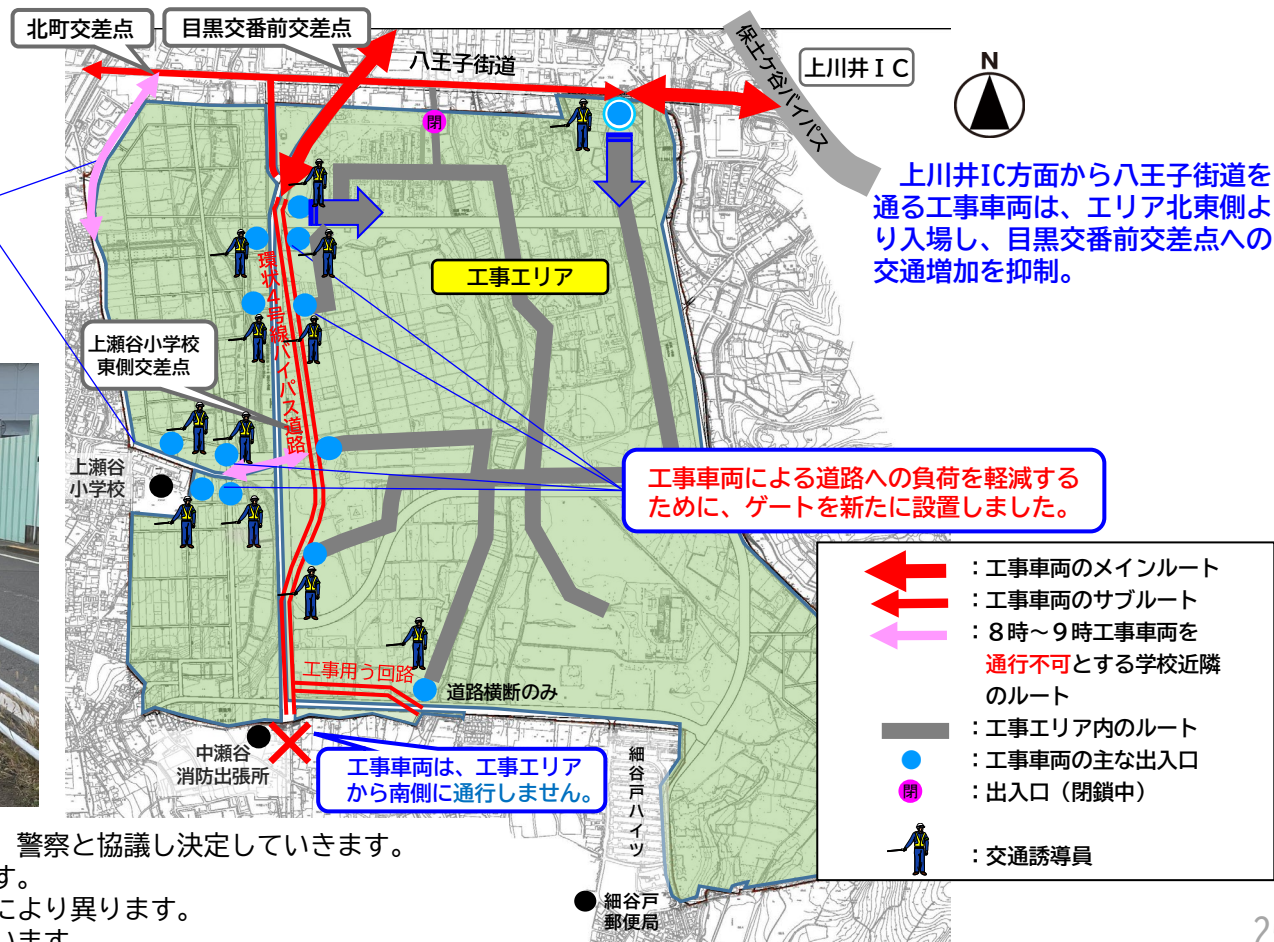
3 工事中の安全対策など

・工事車両の主なルート

登校児童に配慮し、午前8時～9時の間は、学校近隣のルートは通行しません。
下校時については、下校する児童の状況に応じ、誘導員を配置し、安全に配慮して慎重に通行します。
北町交差点から上瀬谷小学校へ向かう歩道の一部を暫定的に**拡幅しました**。
(下写真参照)



拡幅した歩道の状況



※工事車両出入口の詳細な位置については、警察と協議し決定していきます。
※工事車両出入口には、誘導員を配置します。
※出入口、ルートの使用時期は、工事進捗により異なります。
※必要に応じて夜間工事を行う場合がございます。

工事車両通行の安全・混雑対策

- ① 工事用車両は原則、保土ヶ谷バイパスまたは国道246号方面からのアクセスとし、交通負荷軽減のため、環状4号線は、工事エリアより南側には通行しません。
- ② 工事車両は、交通量の多い、朝夕の時間を極力避けるとともに、工事エリア内に速やかに進入することで、現道の混雑抑制に努めます。また、工事全体の車両台数を一元管理し、工事車両通行台数の平準化を行います。
- ③ 工事出入口付近は、誘導員を配置し、工事車両通行の際は、歩行者や一般車両の通行を優先します。
- ④ 登校児童に配慮し、学校近隣のルートについては、午前8時から9時の間は、工事車両は通行しません。また、下校時については、下校する児童の状況に応じ、誘導員を配置し、安全に配慮して慎重に通行します。

工事の環境対策

- ① 建設機械は排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の建設機械を使用します。
- ② 建設機械や工事車両は、エネルギー効率の高い低燃費の機種を使用します。
- ③ 建設機械のアイドリングストップや過負荷運転の防止を徹底します。
- ④ 土工事により土が露出する部分は速やかに転圧し、適時散水を行います。また、廃材の集積やコンクリートの小割作業など、粉じん等の発生を伴う作業は、工事エリア内の住宅より離れた場所で行うこととします。
- ⑤ 工事用車両は、適時タイヤ洗浄等を行い、工事出入口付近においては、適時散水、清掃を行います。

3 工事中の安全対策など

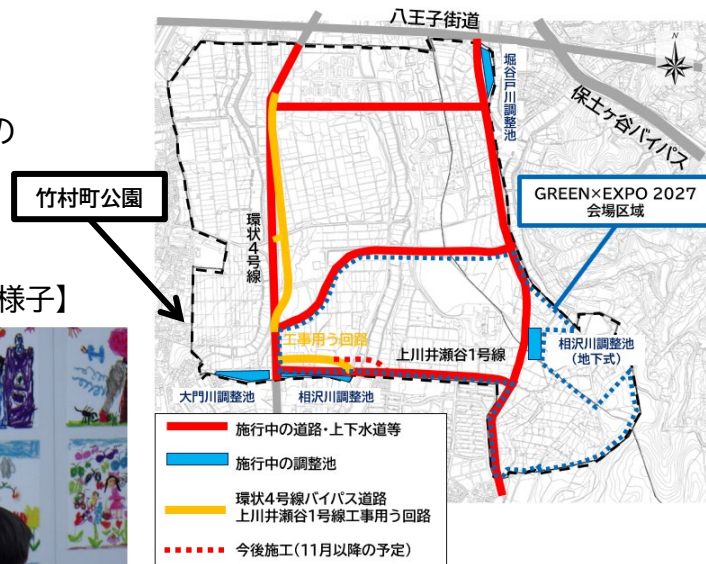
工事仮囲いを活用した絵画展示（１）

- ・ 瀬谷区内にある公立・私立19園の保育園に通う5歳児、総勢250名に GREEN×EXPO 2027をテーマにした絵を描いてもらいました。
- ・ 開催年に小学校入学を迎える園児の想いの詰まった絵を、5歳児にちなんで GREEN×EXPO 2027開催 555日前を迎える9月10日（水）より、竹村町公園前の工事の仮囲いパネルへ掲示しております。

【除幕後の記念撮影の様子】



【展示された絵画を見ている様子】



3 工事中の安全対策など

工事仮囲いを活用した絵画展示（2）

上瀬谷小学校北側の道路の仮囲いにも絵画の展示を予定しています。

上瀬谷小学校

【竹村町公園前の絵画】



【環状4号線バイパス道路の絵画】



【細谷戸ハイツ東側の絵画】



3 工事中の安全対策など

環状4号線バイパスの花壇設置の取組

- ・環状4号線バイパスを通行する方々に、季節の花を楽しんでいただく花壇を作りました。工事関係者や職員等が手入れを行い、GREEN×EXPO 2027へ向けた機運醸成に取り組んでいます。



【環状4号線バイパス道路の花壇の様子】



【花壇の手入れの様子】



大学生×市内企業×海軍道路の桜＝暑さ対策になる晴雨兼用傘が完成

- ・倒木の危険性があるため、やむを得ず撤去された海軍道路の桜について、桜の記憶を継承するとともに、上瀬谷のまちづくりやGREEN×EXPO 2027に寄与する取組を行っています。
- ・その取組の中で、GREEN×EXPO 2027に向け若者たちが地球環境にやさしい社会の実現を目指すヨコハマ未来創造会議において、神奈川大学の学生と市内企業（株式会社ダイイチ）が連携した暑さ対策製品の実証プロジェクトに、海軍道路の桜の枝を提供しました。

【実証プロジェクトの様子】



【暑さ対策製品の概要】

桜色の色素で染色した晴雨兼用傘



学生のアイデアをもとに、リサイクル率の低い紙パッケージと未利用間伐材から作った紙糸で傘生地を織り、海軍道路の桜の枝の色素で染めた晴雨兼用傘の試作品が製作されました。桜をモチーフにした装飾も施され、地域の桜を新たな形で継承する想いが込められています。

上瀬谷整備事務所の機運醸成の取組

- ・上瀬谷整備事務所では、GREEN×EXPO 2027へ向けた500日前記念イベント（11/1に瀬谷駅で開催）のポスターを掲示するなど、機運醸成へ取り組んでいます。
- ・また、上瀬谷整備事務所のフェンスに、GREEN×EXPO 2027の開催へ向けた機運醸成の一環として横断幕を掲示しています。

【500日前記念イベントのポスターの掲示】



【横断幕を掲示している様子】



以上で、ご説明は終わります。

工事中、お住まいの皆さまにはご不便をおかけいたしますが、安全第一で作業いたしますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

（土地区画整理事業・周辺道路整備事業について）

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局 上瀬谷整備事務所

電話 045-900-0701

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

（GREEN×EXPO 2027について）

GREEN×EXPO協会（公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会）

電話 045-307-2099

